

公益財団法人日仏会館 事業報告
2024 年度（自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日）

日仏会館は 2024 年 3 月 7 日に創立 100 周年を迎え、2023・24 年度と 2 か年に渡り 100 周年記念事業を実施した。その 2 年目であった 2024 年度は、これまでの 100 年に渡る活動が結実したような、規模や内容共に充実したイベントを揃えることができた。代表的なものをいくつか挙げると、日仏シンポジウムとして「両大戦間期フランスの表象」、日仏文化講座として「思想としての＜連帯＞と＜オートノミー＞」や「近代日本の歴史学とフランス—日仏会館から考える」等を開催し、好評を博すことができた。会誌『日仏文化』も 100 周年記念号として、日仏会館の 100 年の歴史を概観できる内容で準備を進めて来たが、2024 年 4 月に発刊することができた。また、同じく 100 周年を記念して、日仏会館が企画する各イベントを文化的な資産と捉え、これらをデジタル化し公開することにより、直接イベントに参加できなかった方々を含め、日仏の文化に興味を持つ多くの方々に利用して頂くような新たな仕組みを模索してきたが、この度ウェブサイト进行全面刷新し、デジタル・アーカイブのプラットフォームとして利用できることとなった。関連して、会誌『日仏文化』の新たな形でのデジタル化も進めており、2025 年度には利用頂けるよう準備している。完成すれば、日仏の文化を研究する専門家はもとより、フランス並びにその文化に興味を持つ多くの方々に利便性の高い形でコンテンツをご利用頂けると考えている。今後このデジタル化の流れを一層進め、どのようなコンテンツを追加していけるか検討を続けていくつもりである。このデジタル・アーカイブ化並びにウェブサイト刷新の実現に当たっては、2023 年 11 月に 100 周年を記念した寄附の募集を開始し、2024 年 12 月末まで実に多くのご賛同を得ることができ、感謝の念に堪えない。これらの活動を振り返るに、日仏会館の 100 周年に相応しい事業活動ができたことを喜ばしく思うと共に、今後の 100 年を見据え、日仏会館の会員の方々を始め、多くの皆様の興味を引きつけるようなイベントとは何かということを一層意識し、各イベント・企画として、具体化していくよう努力を続けたい。

日仏会館の財政基盤は、会費収入を始め、有価証券の運用や、不動産の賃貸収入に負っている。コロナ禍によって休止していたホール・会議室等のレンタルは、貸出を全面再開後、コロナ前の収益水準確保には至っていないものの、徐々に利用者の増加を見ている。また、比重の大きい有価証券の利金収入は、昨今の円安や金利上昇によるプラスの効果はあるものの、為替に影響されやすい外貨建ての運用が中心であり、安定的な収入基盤と言える状況ではない。一方、テナントからの賃料収入は収益改善に寄与しており、今後も立地や集客力等の検討を含め、建物の有効活用を軸に財政基盤充実を図っていく。以下、2024 年度の事業報告について重点項目を説明し、次いで具体的事業内容につき述べることにする。

－重点項目－

1. 会館事業の充実

2 ヶ年に渡り開催してきた、100 周年記念イベントは 2025 年 3 月をもって成功裡に終了となった。今後は従来のイベント路線を伝統として大事にする一方、次の 100 年を見据え、新たな形でのイベントを企画していきたい。

2. 日仏の関連諸団体との共同・支援事業

関連団体とのネットワーク維持並びに新たな関係構築が肝要であり、先般 5 年ぶりに開催することができた新年会を契機に、イベントの共催や広報協力を含め、協力関係を拡げることを改めて予定したい。

3. 広報の充実

100 周年記念の一環としてウェブサイト进行全面更新した。今後充実を図っていく。また、SNS を活用した広報の拡充に積極的に取り組んでおり、Instagram を開設した。会誌『日仏文化』も、引き続きデジタル・アーカイブ化の進展を進めている。

4. 事務局体制の強化

コロナ明け後の業務増、催し物のハイブリッド開催や YouTube 等イベント開催方法の多様化などに対応して引き続き職員の充実と各職員のスキル向上を図る所存である。

ー具体的事業内容ー

1. 公益事業 1: 日仏両国の文化・学術研究に関する交流促進及び講演会・シンポジウム・出版物等を通じた研究成果の普及事業

＜学術文化事業関連＞

(1) シンポジウム・文化講座

① 日仏シンポジウム

1) 「両大戦間期フランスの表象—女性、戦争、植民地」＜100周年記念事業＞

(2024年7月20日(土)、21日(日) ホール、オンライン)

登壇者: 澤田直(立教大学、(公財)日仏会館)、中村隆之(早稲田大学)、ドミニク・ベルテ(アンティエユ大学)、永井敦子(上智大学)、大久保恭子(京都橘大学)、ジゼル・サピロ(フランス国立科学研究センター)、大久保清朗(山形大学)、ロラン・ヴェレー(ソルボンヌ・ヌーヴェル大学)、木下千花(京都大学)、小川美登里(筑波大学)、野崎 敏(放送大学)

演奏: 駒井ゆり子(ソプラノ)、鈴木大介(ギター)

開会の辞: 中島厚志((公財)日仏会館理事長)

閉会の辞: トマ・ガルサン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)

*助成: (公財)石橋財団

*協力: 日仏会館・フランス国立日本研究所

(1日目: 239名(ホール73名(会員12名、学生13名)、オンライン166名(学生29名)、2日目: 236名(ホール69名(会員11名、学生4名)、オンライン167名(学生26名))

2) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催の日仏シンポジウム企画については、後出の「協力」に記載。

② 日仏文化講座

1) 「思想としての＜連帯＞と＜オートノミー＞—人と人との理想的なつながりを求めて」

＜100周年記念事業＞

(2024年6月1日(土) ホール)

講師: 川出良枝(東京大学)、西海真樹(中央大学)、川嶋周一(明治大学)、金山準(北海道大学)、重田園江(明治大学)、北垣徹(西南学院大学)、高橋信行(國學院大学)

コメンテーター: 北川忠明(山形大学)、矢後和彦(早稲田大学)

司会: 山元一(慶應義塾大学)、伊達聖伸(東京大学)

*共催: 慶應義塾大学フランス公法研究会

(58名(一般27名、学生17名、会員14名))

2) 「近代日本の歴史学とフランス—日仏会館から考える」＜100周年記念事業＞

(2024年12月14日(土) ホール)

講師: 高橋暁生(上智大学)、小田中直樹(東北大学)、高澤紀恵(国際基督教大学名誉教授)、平野千果子(武蔵大学)

コメンテーター: 森村敏己(一橋大学)、戸邊秀明(東京経済大学)

司会: 長井伸仁(東京大学)、前田更子(明治大学)

(95名(一般60名、学生13名、会員22名))

③ 日仏科学講座

「地球環境の変化と水産物—おいしい魚を食べ続けるために」

(2025年3月22日(土) 501室、オンライン)

講師: 小松輝久(日仏海洋学会会長)、中山一郎(国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長)、堀正和(同機構)、東海正(東京海洋大学名誉教授、(公社)日本水産学会会長)

司会: 丸山達也(東京大学)

(18名(一般6名、学生0名、会員5名、オンライン参加7名))

(2) 講演会

① 日仏文化講演シリーズ(月例講演会)

1) カフェトーク「フランスモード200年の変遷—ロココからベルエポックまで」

(2024年4月11日(木) ギャラリー)

講師: 長谷川彰良(衣服標本家)

司会: 丸山有美(アトリエ・オルフェ(株))

(39名(一般21名、学生6名、会員12名))

- 2) 「フランスとルワンダー対アフリカ外交の蹉跌と転換」
 (2024年4月19日(金) ホール)
 講師：武内進一(東京外国語大学)
 司会：平野千果子(武蔵大学)
 (54名(一般25名、学生15名、会員14名))
- 3) 憲法講演会「安全保障と立憲主義―「戦力を憲法で縛る」とはどういうことか」
 (2024年5月8日(水) ホール)
 講師：井上達夫(東京大学名誉教授)
 司会：山元一(慶應義塾大学)
 (53名(一般22名、学生16名、会員15名))
- 4) 「若手研究者セミナー」
 (2024年7月27日(土) 501室)
 講師：齋藤由佳(獨協大学)、須藤輝彦(東京大学)、中田麻理(立教大学)
 司会：伊達聖伸(東京大学)
 (15名)
- 5) 「フランスはどこにいくのか?―右翼ポピュリズムを考える」
 (2024年8月1日(木) 収録後 YouTube にて公開)
 パネリスト：渡邊啓貴(帝京大学、東京外国語大学名誉教授)、国末憲人(東京大学)
 司会：中島厚志((公財)日仏会館理事長)
- 6) 加藤周一記念講演会「いま、もう一度『言葉と戦車を見すえて』」
 (2024年10月7日(月) ホール)
 講師：小森陽一(東京大学名誉教授)
 司会：伊達聖伸(東京大学)
 (53名(一般31名、学生8名、会員14名))
- 7) 「日仏芸術交流の100年―「演劇」を通しての交流」＜100周年記念事業＞
 (2024年11月13日(水) 501室)
 講師：藤井慎太郎(早稲田大学)、パトリック・ドゥヴォス(東京大学名誉教授)
 司会：コリーヌ・カンタン(翻訳家、編集者)
 (33名(一般14名、学生11名、会員8名))
- 8) 「高浜寛が考える「文学と漫画」―日本人がフランス小説を漫画化すると」
 (2025年1月24日(金) ホール)
 講師：高浜寛(漫画家)
 司会：コリーヌ・カンタン(翻訳家、編集者)
 (56名(一般42名、学生4名、会員10名))
- 9) 「ドキュメンタリー映画と講演 哲学者ジャック・デリダー思考の勇気」
 (2025年2月14日(金) ホール)
 講師：西山雄二(東京都立大学)
 司会：澤田直(立教大学)
 (105名(一般51名、学生36名、会員18名))
- 10) 「フットボール・エクスポジション―フランス・サッカーとその背景にある文化をめぐって」
 (2024年3月31日(月) ホール)
 講師：陣野俊史(作家)
 コメンテーター：澤田直(立教大学)
 司会：塚本昌則(東京大学)
 (47名(一般20名、学生13名、会員14名))

(3) 教養講座等

① 日仏会館教養講座

(2025年1月27日、2月3日、10日、17日(各月) 501室)

講師：水野紀子（白鷗大学）
（11名（一般5名、学生0名、会員6名））

② 食文化講座

（2025年1月20日（月） ギャラリー）

講師：廣田功（帝京大学学術顧問）

料理：佐々木昭人（「レスパス」元オーナーシェフ）

（28名（一般15名、学生0名、会員13名））

③ ビジネス講座

1) ビジネスパーソン交流会「セネガルにおけるビジネスを通じた日本の医療・教育貢献-社会課題解決型ビジネス TUMIQUI（ツミキ）プロジェクトを中心に-」

（2024年5月15日（水） ギャラリー）

講師：佐藤弘一（（株）シュークルキューブジャポン代表取締役社長）

司会：藤原邦一（（株）藤原プロデュース代表）

（46名（一般29名、学生0名、会員16名））

(4) コンサート・上映

① 映像と講演

1) ここだけのフランス映画 IX 「ケン・スコット『人生、ブラボー！』」

（2024年6月18日（火） ホール）

講師：杉原賢彦（目白大学）

司会：渡辺真美（（公財）日仏会館副理事長）

*共同主催：TMF 日仏メディア交流協会

*協力：ケベック州政府在日事務所、クロックワークス=コムストック・グループ

（33名（一般18名、学生2名、日仏会館会員12名、TMF会員1名））

2) ここだけのフランス映画 X 「アニエス・ヴァルダ監督『落穂拾い』再訪」

（2024年10月31日（木） ホール）

講師：杉原賢彦（目白大学）

司会：渡辺真美（（公財）日仏会館副理事長）

*共同主催：TMF 日仏メディア交流協会

*協力：ザジフィルムズ

（28名（一般15名、学生2名、日仏会館会員11名、TMF会員0名））

3) ここだけのフランス映画 XI 「フレデリック・ワイズマン『至福のレストラン 三つ星トロワグロ』」

（2025年2月7日（金） オンライン）

講師：杉原賢彦（目白大学）

司会：渡辺真美（（公財）日仏会館副理事長）

*共同主催：TMF 日仏メディア交流協会

*協力：セテラ・インターナショナル

（視聴申込 日仏会館100名、TMF2名 オンライン講演会参加 63名）

② フランス音楽の夕べ

「ドビュッシー、そして6人組と若きフランスーフランス音楽の半世紀」

（2024年10月29日（火） ホール）

演奏：山崎貴子（ヴァイオリン）、新井田さゆり（ソプラノ）、小坂圭太（ピアノ）

司会：野平一郎（東京音楽大学学長）

（96名（一般53名、学生28名、会員15名））

③ レクチャーコンサート

「アンリ・デュティユーの弦楽四重奏曲《こうして夜は》—作曲コンセプトとしての「記憶」をめぐって」（2025年3月3日（月） ホール）

講師：藤田茂（東京音楽大学）

演奏：橘和美優（ヴァイオリン）、塚本禎（ヴァイオリン）、山本里真（ヴァイオリン）、

小粥麻莉奈（チェロ）

（67名（一般37名、学生14名、会員16名））

- (5) ギャラリー展示
開催なし

<出版・広報関係>

(1) 書籍出版

① 日仏会館ライブラリー

- 1) 『渋沢栄一とフランス』《日仏会館ライブラリー》4 三浦信孝、矢後和彦編
水声社 2025 年 3 月刊行 4,950 円
2024 年 3 月 7 日、8 日に開催された（公財）日仏会館と日仏会館・フランス国立日本研究所共同主催の日仏会館創立百周年記念日仏シンポジウム「渋沢栄一とフランス」の書籍化。
- 2) 『女性・戦争・植民地 1919-1939—両大戦間期フランスの表象』《日仏会館ライブラリー》5 澤田直、野崎敏編
水声社 2025 年 3 月刊行 4,400 円
2024 年 7 月 20 日、21 日に開催された（公財）日仏会館主催の日仏会館創立百周年記念日仏シンポジウム「両大戦間期フランスの表象——女性、戦争、植民地」の書籍化。

② 関連書籍出版

- 1) 『日仏芸術交流の 100 年—建築、音楽、庭園、写真・映像』準備中
三元社
2023 年 12 月 2 日、3 日に開催された（公財）日仏会館主催の日仏会館創立百周年記念日仏シンポジウム「日仏芸術交流の 100 年—建築、音楽、庭園、写真・映像」の書籍化。

(2) 会誌『日仏文化』

4 月 93 号/100 周年記念号発行
9 月 94 号発行

(3) ニュースレター「NOUVELLES」
172 号、173 号を発行

(4) イベント案内「Prochainement」

2024 年度 6-7-9 月号、10-11 月号、12-1 月号、2-3 月号、2025 年度 4-5-6 月号発行

(5) メールニュース

- ① 「Prochainement」に合わせて発行
- ② 月末に次月のイベントの告知
- ③ 臨時にイベント情報等を発行

会員 532 件、賛助会員 55 件、日仏関連学会 110 件、日仏協会 30 件、関係者・送付希望者 575 件

(6) ウェブサイト・SNS の運営

- ① 10 月にウェブサイトをリニューアル (<https://www.fmfj.or.jp/>)
- ② YouTube 動画公開 49 本、チャンネル登録者 2070 人
- ③ X フォロワー1331 人
- ④ Instagram フォロワー166 人
- ⑤ Peatix (<https://fmfj.peatix.com/>) フォロワー3066 人

2. 公益事業 2：日仏両国の文化・学術研究に関する作品の公募、表彰及びフランス語コンクールを通じた、文化・学術の振興を目的とする事業

(1) 第 41 回渋沢・クロードル賞

【日本側】

本 賞：谷口良生（明治大学文学部専任講師）

『議会共和政の政治空間—フランス第三共和政前期の議員・議会・有権者たち』
（京都大学学術出版会、2023）

奨励賞：神崎舞（同志社大学グローバル地域文化学部准教授）

『ロベール・ルパージュとケベック—舞台表象に見る国際性と地域性』
（彩流社、2023）

表彰式ならびに受賞記念講演会は2024年7月5日（金）日仏会館ホールにて開催。

講演：谷口良生、神崎舞

挨拶：中島厚志（（公財）日仏会館理事長）、村岡彰敏（読売新聞東京本社代表取締役社長）

祝辞：シャルランリ・ブローソー（在日フランス大使館文化参事官） 代読 トマ・ガルサン（日仏会館・フランス国立日本研究所所長）

審査結果報告：中地義和（渋沢・クロード賞委員会委員長、（公財）日仏会館副理事長）

*主催：日仏会館、読売新聞社

*協賛：（公財）渋沢栄一記念財団、（学）帝京大学

*後援：在日フランス大使館

（83名）

【フランス側】

エリーズ・ヴォワイヨ（東京外国語大学世界言語社会教育センター特任講師）

「写真売ります！」日本写真における1968年以降のラディカリズム再考—ワークショップ写真学校（1974-1976）の場合」（博士論文）

Elise VOYAU (World Language and Society Education Centre, TUFs)

« “Photographies à vendre !” Redéfinir le radicalisme en photographie après 1968, le cas japonais de Workshop shashin gakkō (1974-1976) » (thèse)

表彰レセプションは、2025年2月13日（木）パリ日本文化会館にて開催。

*主催：（公財）日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団

*協力：日仏会館・フランス国立日本研究所

*協賛：（公財）渋沢栄一記念財団、（学）帝京大学、読売新聞社

*後援：在仏日本大使館

(2) フランス語コンクール決勝大会

（2024年11月23日（土・祝） ホール）

第1部門（上級）

◎ 日仏会館理事長賞 宮城マルセロ（社会人）「お互いに近づくことができる意味の分け合い」

◎ 日仏会館百周年記念賞 浦田真莉子（社会人）「再び言葉の向こう側へ—多様性の探究」

第2部門（中級）

◎ 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ賞 都留京子（社会人）「制服がもたらす安心感と一体感」

第1部門（上級）第2部門（中級）共通

◎ 審査員特別賞 木村玲子（東京都立日比谷高校2年）「コミュニケーションの核心」

◎ 奨励賞

・ ベルギー大使館賞 坪山倫（東京大学4年）「制服制度再考—自由と平等のバランスを求めて」

・ ケベック州政府賞 土屋駿（東北大学2年）「制服が環境保全にもたらす利益」

・ 日本フランコフォニー推進評議会賞 那須優月（上智大学1年）「言葉の向こう側へ—多様性の探究」

・ 日本ロレアル賞 エヴァンジェリン・カロール・ロボ（早稲田大学3年）「繋がりがすぎているからこそ、繋がれない—現代コミュニケーションの矛盾」

◎ APEF賞（アルファベット順）

・ 清田智代（社会人）「高度化するコミュニケーションの時代における「茶の湯の心」

・ 黒木まゆら（公文国際学園高等部2年）「多様性の未来に向けて」

・ 黒森恵（早稲田大学4年）「私を強くするもの」

・ 中崎明星（広島大学4年）「制服による平等と自由」

・ 社領真由（慶應義塾大学4年）「コミュニケーションの本質である人間性」

・ 田嶋崇宏（社会人）「チャットGPTはトリュフォーの野生児と良いコミュニケーションを築けるだろうか？」

・ 柳川七海（お茶の水女子大学3年）「人間らしいコミュニケーション「非言語」

*助成：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

*協賛：ACCORD（パリ語学学校）、CIDEF（アンジェ西部カトリック大学語学学校）、CLA（ブザンソン応用語学センター）、日本ロレアル株式会社

*協力：在日ベルギー大使館、ケベック州政府在日事務所、（公財）フランス語教育振興協会（APEF）、日本フランコフォニー推進評議会

*後援：朝日新聞社、日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会

3. 公益事業 3：日仏両国の文化・学術研究、教育に従事する団体等との共同事業及び同団体への研究推進を支援する事業

<学術文化事業関連>

(1) 日仏春秋講座

「古代文学の現代的意味—ギリシア神話と『古事記』」 <100周年記念事業>

(2024年11月19日(火) ホール)

講師：フィリップ・ボルジョー (ジュネーヴ大学名誉教授)、池澤夏樹 (作家)

司会：逸身喜一郎 (東京大学名誉教授)

(72名)

(2) 恵比寿映像祭共催シンポジウム

恵比寿映像祭 2025「Docs—これはイメージです」共催シンポジウム「ヴァナキュラーとオリジナルティ」

(2025年2月5日(水) ホール)

講師：橋本一径 (早稲田大学)、倉石信乃 (明治大学)

司会：川出良枝 (東京大学)、田坂博子 (東京都写真美術館)

*共同主催：(公財) 日仏会館、恵比寿映像祭 [東京都・(公財) 東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・日本経済新聞社]

*共催：サッポロ不動産開発 (株)

(56名)

(3) 日仏会館学術研究助成

① 日仏学術研究助成 (90万円)

- ・ 日仏経済学会「フランスの経済学の知的伝統に関する研究」
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照

② 日仏学者交換プログラム (50万円(航空券30万円、滞在費20万円))

- ・ 日仏教育学会 リュック・トゥルーシュ (リヨン高等師範学校名誉教授) 招聘
- ・ 日仏生物学会 ルルド・ムーニアン (エクス・マルセイユ大学准教授) 招聘
- ・ 日仏女性研究学会 マルティーン・リード (リール大学名誉教授) 招聘
- ・ 日本フランス語・フランス文学会 ヴァレリー・ムレジェヌ (テアトル・ドゥ・ブルターニュ加盟芸術家) 招聘
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照

(4) 日仏関連学会連絡協議会

- 1) 2024年7月9日(火) オンライン開催
- 2) 2024年12月16日(月) 対面開催

(5) 首都圏大学意見交換会

2024年9月18日(水) 501室にて開催。首都圏17大学のフランス研究関係者が参加。

(6) 日仏文化・学術・教育団体との共同事業、施設貸与

日仏会館・フランス国立日本研究所、日仏関連諸学会、親密団体、在日フランス大使館他、日仏文化・学術・教育団体主催するシンポジウム・講演会等事業のために、ホール、会議室、研究室等を提供。

<共催支援事業>

(1) TMF 日仏メディア交流協会主催「故・磯村尚徳氏追悼講演会」

(2024年4月12日(土) ホール)

開会挨拶：渡辺真美 ((公財) 日仏会館副理事長)

登壇者：鈴木仁 (パリ日本文化会館館長) (リモート参加)、大沢晴美 ((一社) フランスレストラン文化振興協会会長)、渡辺昌俊 (日仏経済交流会 2代目会長)、瀬藤澄彦 (ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)、沢村互 (朝日新聞論説主幹代理)

司会：大野博人 (TMF 日仏メディア交流協会会長)

*協力：日仏経済交流会、ルネサンス・フランセーズ日本代表部、クラブ・プロスペール・モンタニエ日本支部

(43名(一般31名、会員12名))

- (2) ルネサンス・フランセーズ日本代表部主催講演会「危機の時代と日欧関係―日米欧グローバル・パートナーシップは可能か」
(2024年4月20日(水) ホール)
司会：飯村豊(元駐仏日本大使)
モデレーター：中島厚志((公財)日仏会館理事長)
開会挨拶・司会：瀬藤澄彦(ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)
*協力：日仏経済交流会、TMF 日仏メディア交流協会
(43名(会員11名))
- (3) 日仏生物学会主催講演会「食えることと脳―フランス エクス・マルセイユ大学における研究展開」
(2024年4月25日(木) 501室、オンライン)
講師：ルルド・ムーニアン(エクス・マルセイユ大学)
(32名(ホール参加11名、オンライン参加21名、会員21名))
- (4) 在日フランス大使館主催講演会「料理の科学―未来の料理法」
(2024年5月24日(金) ホール)
講師：ラファエル・オーモン(パリ＝サクレ大学)
(75名)
- (5) 日本フランス語フランス文学会主催講演会「IJKL：今日アーティストであること」
(2024年6月5日(水) ホール)
講師：ヴァレリー・ムレジェヌ(作家、アーティスト)
司会：根本美作子(明治大学)
(30名)
- (6) 日仏政治学会主催講演会「次世代のル・ペンの政治―マリオン・マレシャルの主張と課題」
(2024年8月3日(土) 501室、オンライン)
報告者：本間圭一(東洋大学)
司会：小窪千早(静岡県立大学)
(64名(501室14名、オンライン50名))
- (7) 日仏教育学会主催シンポジウム「日仏における教育の立役者とそのネットワーク―数学の事例を通して」
(2024年9月14日(土) ホール)
講師リュック・トルーシュ(リヨン高等師範学校名誉教授)
報告者：大滝孝治(北海道教育大学)
討論者：磯田正美(筑波大学)
司会・報告者：宮川健(早稲田大学)
(37名(会員10名))
- (8) TMF 日仏メディア交流協会主催講演会「『ガロ』とその時代」
(2024年9月26日(木) ホール)
講師：クロード・ルブラン(ジャーナリスト)
司会：大野博人(TMF 日仏メディア交流協会会長)
(32名(会員7名))
- (9) ラブレー・モンテーニュ研究フォーラム他主催「フランス・ルネサンス文学の書誌学的愉しみ」
(2024年11月1日(金) 501室、オンライン)
講師：ギヨーム・ベルトン(トゥーロン大学)、上谷俊則(トゥール大学ルネサンス高等研究所)、宮下志朗(東京大学名誉教授)
*主催：ラブレー・モンテーニュ研究フォーラム、日本ロンサル学会
*共催：(公財)日仏会館、日本フランス語フランス文学会
*助成：慶應義塾大学
(49名(501室21名、オンライン28名))
- (10) 日仏経済学会主催「フランスの経済学の知的伝統」＜100周年記念事業＞
(2025年3月7日(金) ホール)
講師：米田昇平(下関市立大学名誉教授)、八木尚志(明治大学)、杉本隆司(明治大学)、御崎加

代子（滋賀大学）、栗田啓子（東京女子大学名誉教授）、竹内佐和子（東京音楽大学）
（31名）

- (11) 日仏女性研究学会主催「フランスにおける文学史と女性作家—マルティーン・リード氏を迎えて」
（2025年3月9日（日） 501室、オンライン）
講師：マルティーン・リード（リール第3大学名誉教授）
討論者：石川清子（静岡文化芸術大学名誉教授）、宇野木めぐみ（立命館大学）、岡部杏子（学習院大学）、新行内美和（立教大学）、中村彩（立教大学）、西尾治子（日仏女性研究学会代表）、秦佳代（北海道大学大学院）
（64名（501室17名、オンライン47名））

<協力支援事業>

- (1) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催第40回渋沢・クロード賞（フランス側）受賞記念講演会「和歌・倭詩・漢詩—奈良朝の言語空間と詩歌文学」
（2024年7月12日（金） ホール）
講師：アルチュール・デフランス（東アジア文化研究所）
司会：トマ・ガルサン（日仏会館・フランス国立日本研究所所長）、中地義和（（公財）日仏会館副理事長・東京大学名誉教授）
*協賛：（公財）渋沢栄一記念財団、（学）帝京大学
*協力：（公財）日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団
*後援：在日フランス大使館、読売新聞社
- (2) フランス絶対主義研究会他主催シンポジウム「『書くこと』と権力—GRIHLとの対話」
（2024年9月16日（月） 501室）
報告者：ニコラ・シャピラ（パリ・ナンテール大学）、ダイナ・リバー（フランス国立社会科学高等研究院）
討論者：小山啓子（神戸大学）、松本礼子（専修大学）
司会：佐々木真（駒沢大学）、高澤紀恵（法政大学）
通訳：竹下和亮（東京外国語大学）
*主催：フランス絶対主義研究会、文芸事象の歴史研究会
- (3) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催「日本におけるランボー、その幸運と不運」
（2024年10月22日（火） ホール）
講師：中地義和（（公財）日仏会館副理事長、東京大学名誉教授）
ディスカッサント：浜永和希（東京大学）
司会：トマ・ガルサン（日仏会館・フランス国立日本研究所所長）
- (4) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催シンポジウム「フランスにおける40年の日本研究、これからは？」<100周年記念事業>
（2024年11月15日（金）、16日（土） ホール）
講師：エマニュエル・ロズラン（フランス国立東洋言語文化学院）、坂井セシル（パリ・シテ大学名誉教授）、クリスティーン・レヴィ（ボルドー・モンテーニュ大学名誉講師）、セザール・カステルビ（パリ・シテ大学）、アントナン・ベシュレル（日仏会館・フランス国立日本研究所）、ピエール＝フランソワ・スイリ（元ジュネーヴ大学教授）、トマ・ガルサン（日仏会館・フランス国立日本研究所所長）、ヴァレリー・ジェレゾー（日仏会館・フランス国立日本研究所）、ソフィー・ウダー（日仏会館・フランス国立日本研究所）、ラファエル・ランギヨン（日仏会館・フランス国立日本研究所）、ミカエル・リュッケン（フランス国立東洋言語文化学院）、マチュー・カペル（東京大学）、ジャン＝ノエル・ロベール（コレージュ・ド・フランス名誉教授）、ニコラ・フィエヴェ（フランス国立極東学院）、クリストフ・マルケ（フランス国立極東学院）、デルフィーヌ・ヴォムシャイド（日仏会館・フランス国立日本研究所）、ベルナル・フォール（コロンビア大学名誉教授）、斎藤英喜（佛教大学）、フィリップ・ボルジョー（ジュネーヴ大学名誉教授）、松浦寿輝（東京大学名誉教授）、中地義和（（公財）日仏会館副理事長・東京大学名誉教授）、ソフィー・バッシュ（ソルボンヌ大学）、三浦篤（東京大学名誉教授）、成田龍一（日本女子大学名誉教授）、平野千果子（武蔵大学）、ファヨル入江容子（甲南大学）、澤田直（立教大学）
*協賛：クレディ・アグリコル・CIB ジャパン、東芝国際交流財団、フランス財団
- (5) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催「1世紀前の日仏会館の誕生—クロードと渋沢、そして日仏会館の Directeur français の名称と権限をめぐる問題（1924～1931）」

(2024 年 12 月 3 日 (火) 601 室)

講師：ミシェル・ワッセルマン (立命館大学名誉教授)

ディスカッサント：三浦信孝 (中央大学名誉教授)

司会：トマ・ガルサン (日仏会館・フランス国立日本研究所所長)

- (6) フランス国立極東学院、(公財) 東洋文庫主催「アジア学をもとめて—東洋文庫とフランス国立極東学院の 30 年 (1994-2024)」

(2024 年 12 月 7 日 (土) 東洋文庫)

報告者：フランソワ・ラショウ (極東学院)、マルタン・ノゲラ・ラモス (極東学院)、高田時雄 (東洋文庫)、牧野元紀 (東洋文庫)

司会：牧野元紀

- (7) Emerging 恵比寿 2025 実行委員会主催「Emerging 恵比寿 2025 Culture/Wellness シンポジウム」

(2025 年 2 月 12 日 (水) ホール)

報告者：朝田隆 (メモリークリニックお茶の水院長)、池田めぐみ (YAMAGATA ATHLETE LAB. 代表)、太下義之 (同志社大学教授)、陣野俊史 (作家)、谷本歩実 (パリオリンピック TEAM JAPAN 副団長)、岡澤セオン (パリオリンピックボクシング日本代表)

4. その他事業

- (1) 各地日仏協会との交流

開催なし

- (2) 親睦会

新年パーティー (2025 年 1 月 30 日 (木) 明治記念館、参加 136 名)

5. 収益事業：公益目的事業に資する財源確保のため、会館内スペースの賃貸及び公益目的

使用時間外の会館施設の貸与事業

日仏会館建物内スペース賃貸並びに公益目的使用時間外のホール・会議室・ギャラリー、駐車場スペースの貸与

6. 管理業務

- (1) 会議の開催

・理事会

- ① 2024 年 5 月 29 日 (水)

2023 年度事業報告・収支決算の件

任期満了に伴う理事・監事・評議員推薦の件

任期満了に伴う諮問委員推薦の件

評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

業務執行理事の職務執行報告

- ② 2024 年 10 月 30 日 (水)

2024 年度上期事業・予算執行状況報告の件

業務執行理事の職務執行報告

- ③ 2025 年 2 月 26 日 (水)

2025 年度事業計画・収支予算の件

評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

業務執行理事の職務執行報告

・評議員会

- ① 2024 年 6 月 9 日 (金)

2024 年度事業報告・収支決算の件

任期満了に伴う理事・監事・評議員選任の件

任期満了に伴う諮問委員選任の件

日仏会館・フランス国立日本研究所 2023 年度事業報告・収支決算報告の件

② 2025 年 3 月 14 日（金）

2025 年度事業計画・収支予算の件

日仏会館・フランス国立日本研究所 2025 年度事業計画・収支予算の件

・常務役員会（月例）

・委員会

学術・文化事業委員会（月例）、渋沢・クロード賞委員会（随時）、総務委員会（月例）

(2) 役員等名簿（2025 年 3 月 31 日現在、敬称略、abc 順）

総裁 常陸宮殿下

名誉総裁 駐日フランス大使 Philippe SETTON

名誉理事長 福井憲彦、樋口陽一、松浦晃一郎

顧問 三浦信孝、柳井準

理事長 中島厚志

副理事長 中地義和、渡辺真美

常務理事 川出良枝、中江剛介、澤田直、塚本昌則、山元一

理事 林玲子、林洋子、平野千果子、勝川英子、河本真理、大村敦志、大野博人、
Christian POLAK、杉山直人、高澤紀恵、山本博幸、吉澤正浩

監事 野口真有美、鈴木洋子

評議員 飯村 豊、Muriel JOLIVET、北島元治、北村一郎、古石篤子、小出寛子、永井敦子、
西川恵、西村篤子、岡眞理子、岡本和夫、塩川徹也、杉浦勉、滝澤正、得能摩利子、
渡邊啓貴、吉井篤志、吉岡知哉

諮問委員 Jean BARTHELEMY、Hubert De MESTIER Du BOURG、Laurent DUBOIS、
Tomas GARCIN、稲畑勝太郎、北原隆、黒澤信也、Michel LACHAUSSÉE、
Norbert LEURET、小倉和夫、老川祥一、大井孝、為永清嗣

(3) 会員数（2024 年 9 月 30 日現在）＊前期末：2024 年 3 月 31 日

種 類	前期末(a)	入会者	退会者	当期末(b)	差異(b- a)
通常会員	601	44	52	593	△8
家族会員	39	2	6	35	△4
学生会員	5	4	3	6	+1
終身会員	80	0	4	76	△4
(個人会員計)	725	50	65	710	△15
賛助会員	69	1	8	62	△7
合計	794	51	73	772	△22

以上